

未来へ届け わたしたちの願い

平和の尊さを学びました

「歴史と文学の館 ふれあい平和サロン志麻利」では8月6日午前9時から「小説黒い雨の舞台となった地から平和の心を伝えよう」と題して平和学習会が開催されました。

小島地域の今川利壽さんは、あの日、爆心地から北に2.5kmの陸軍の兵舎内で被爆し、戸坂の軍病院に移動する間の広島島の惨状を約40人の参加者に話してくださいました。その後、参加者は、読み聞かせの会による平和紙芝居を

鑑賞し、平和への願いを記した短冊を風船に付けて「つっつけヶ丘公園」の文学碑前から天空へと飛ばしました。



「歴史と文学の館 ふれあい平和サロン志麻利」では平和に関する資料を展示しています。展示はお気軽にお立ち寄りください。

開催日 日 月 木曜日 午前10時～午後3時 入館無料 ☎八五二一八〇八

8月6日から9日まで、各地区でそれぞれ平和学習会が開催されました。三和地区では今川利壽さん、油木、神石、豊松地区では山本剛久さん（油木地区から被爆体験を聞き、アニメ映画「はだしのゲン」の上映会が行われました。参加した子どもたちは、戦争の悲惨さや、原爆の恐ろしさを心に刻み、平和の尊さと、友達の大切さを学びました。

